

校長室から

あいさつで 変わるもの

学校でも家庭でも、子どもたちに「あいさつをください。」「あいさつは大切だよ。」と、毎日のように言っていますが、なぜあいさつが大事なのか、あいさつで何が変わるのかを考えてみました。

その1 人間関係が変わる

あいさつはコミュニケーションの第一歩です。あいさつから人と人の関係は始まります。また、元気なあいさつ、気持ちのよいあいさつをしてもらって、気分の悪い人はいないでしょう。あいさつは人間関係をつくるための大切な道具です。

その2 1日が変わる

朝、満面の笑顔であいさつをされたら、幸せな1日を送ることができると思います。また、たとえ、その日いやなことがあっても、「お疲れさま」「ありがとう」の一言で1日の印象が違ってきます。

その3 自分自身が変わる

だれでも不機嫌なときはあります。そんなときは笑顔であいさつすることも難しいかもしれませんが、でも、作り笑顔でもいいので、がんばってあいさつをしましょう。あいさつには相手がいます。お互いがあいさつを交わすうちに、必ず自然な笑顔がもどってきます。あいさつが感情をコントロールし、自分を変えてくれるのです。

今月の生活目標は、「心をこめたあいさつをしよう」です。気持ちのよいあいさつで、明るく毎日を過ごしましょう。

(藤川)

心いきいき道徳コーナー



学年のまとめの時期に入りました。今年度のお子さんの、心の成長はいかがだったでしょうか？ 今月の「ありがとうの日」のテーマは、「自分たちの学習に協力してくれているおうちの人や地域の人たちに感謝の気持ちを持ち、学習の成果を発表する」です。この1年間、子どもたちはいろいろな場面で、学習面や体力面はもちろん、心情面でも大きく成長したことと思います。これも日々、子どもたちを温かく見守り支えてくださった方たちのおかげです。お忙しいとは思いますが、学習参観にはぜひ多くの保護者の皆様に子どもたちの成長を見に来ていただくと幸いです。

また、3月1日には6年生の卒業に向けて、「6年生を送る会」があります。卒業を前に6年生と在校生がふれ合う児童会主催の行事です。在校生は日々の学校生活や行事、なかよしタイムでお世話になった6年生に対して感謝の気持ちを持ち、それぞれの学年や学級ごとに工夫した活動で6年生にありがとうを伝えようと準備していきます。また、6年生には、6年間の学校生活を振り返り、いろいろなところでお世話になったみなさんやなかよくしてくれた在校生のことを思い起こしながら、小学校生活最後の良き思い出となればと思います。

(岡田)

川島小ブログ更新中

<http://blog.education-tens.net/e-kawasi/>

